

工事内容 東名リニューアル工事（東京IC～東名川崎IC間 東名多摩川橋）

お客さまの走行安全性と快適性を高めるために

老朽化した橋梁のコンクリート床版を撤去し、新しい床版に取り替える工事をおこないます。
工事の際は、現場での作業時間短縮と品質向上のために、あらかじめ工場で作成されたプレキャストコンクリート床版に取り替えをおこないます。東名多摩川橋ではお客さまへの影響を最小にするため、床版取替の分割施工により極力車線数を確保した規制を行います。



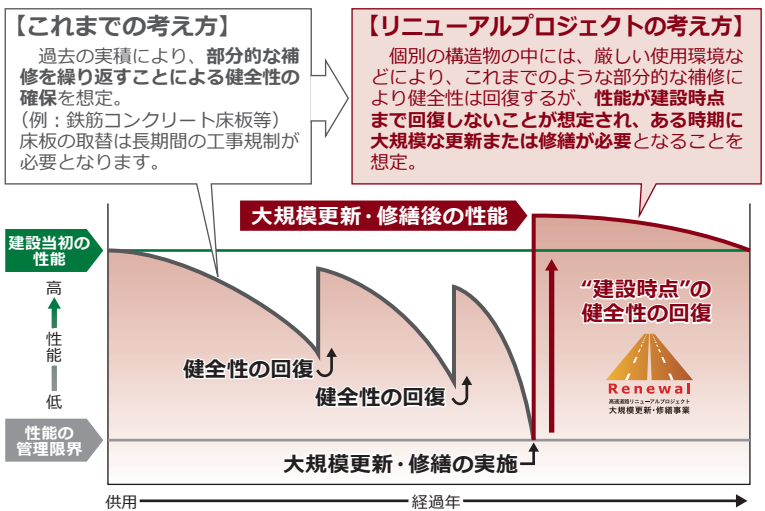
東名多摩川橋の分割床版取替イメージ



床版劣化機構

東名多摩川橋の損傷状況

東名多摩川橋は、1968年に開通した区間に位置する橋梁であり、開通後50年余りが経過しています。また、大型車交通量が多く、その影響により老朽化が進んでいます。部分的な補修や補強を繰り返してきたものの、橋梁構造体の損傷が進み、床版下面のコンクリートの剥離やそれに伴う内部鉄筋の露出・腐食などが確認されており、床版取替などの抜本的な対策が必要となっています。



道路交通情報や工事に関する情報の確認方法

【工事の概要や進捗、高速道路の安全なご利用のお願いなど】

■東名リニューアル工事（東名多摩川橋）専用WEBサイト

https://restriction.c-nexco.co.jp/ttrn_21a2/

※検索サイトで検索例に記載のキーワードを入力して検索していただくことで、工事専用WEBサイトをご覧いただけます。

検索例

【NEXCO中日本の工事規制の予定】

■大規模工事規制情報〈大規模工事規制ポータルサイト〉

<https://restriction.c-nexco.co.jp/>

■工事規制情報〈工事規制予定MAP〉

<https://construction.c-nexco.co.jp/>

【リアルタイムの道路交通情報】

■WEBサイト iHighway中日本

<https://www.c-ihighway.jp/>

■日本道路交通情報センター

TEL.050-3369-6666（携帯短縮ダイヤル「#8011」）

WEBサイト 道路交通情報Now!!

<https://www.jartic.or.jp/>

お問い合わせ先

【東名リニューアル工事に関するお問い合わせ】

■NEXCO中日本お客さまセンター（24時間）

TEL.0120-922-229（フリーダイヤル）

TEL.052-223-0333（フリーダイヤルがご利用になれないお客さま／通話料有料）

※交通事故の通報は警察（110番）まで

発注者

中日本高速道路株式会社（NEXCO中日本）東京支社

担当事務所

東京支社 横浜保全・サービスセンター

〒226-0026 神奈川県横浜市緑区長津田町5509

TEL.045-922-1141

施工者

株式会社大林組・大林道路株式会社

東名高速道路（特定更新等）東名多摩川橋床版取替工事

特定建設工事共同企業体

〒214-0022 神奈川県川崎市多摩区堰1丁目-13 東名高速道路高架下

TEL.044-322-0957



東名リニューアル工事

東名高速道路（特定更新等）

東名多摩川橋
床版取替工事

東名多摩川橋

検索



大林組



大林道路

工事概要

今回、床版取替工事を実施する東名多摩川橋を含む東名高速道路、東京IC～東名川崎IC区間は、1日当り10万台の一般車両が往来する、都内でも有数の重交通区間。社会的影響が極めて大きいため、工事期間中も車線数を出来るだけ減じることなく6車線確保するため、施工ステップを6段階として、床版を取替えます。

主な工事内容	規制概要
・既設床版撤去工 15,500㎡	東名リニューアル工事（東名多摩川橋床版取替工事）は、2021年11月下旬から2024年11月下旬頃までの約3年間で、老朽化した橋梁のコンクリート床版を新しい床版に取り替えるため、車線シフト・車線幅縮小規制、並びに一部期間で、車線分離規制をおこないます。
・床版設置工 15,500㎡	
・遮音壁取替 700m	
・道路照明取替 一式	

施工箇所図



現場がかかえる問題点

1 交通量=56,000台/日（片側）重交通区間を占用して施工

規制期間・規制車線数を最小化

2 隣接橋（東京高架橋・川崎高架橋）が住宅密集地域に近接

多摩川橋、隣接橋を拡幅せず 周辺への影響・施工期間の長期化を回避

3 供用後の維持管理や補修作業が困難

高品質・高耐久構造でメンテナンスも容易

施工方針

1 規制車線数を最小化

2 周辺への影響を回避
施工期間の長期化

多摩川橋、隣接橋を拡幅せず、
規制日数をできるだけ短くする、
床版分割施工を採用

橋梁名	橋長	幅員	床版取替面積
東名多摩川線	495m	31m	15,490㎡



①現場作業の省力化により工程短縮を実現する技術

スリムファスナー工法

●スリムファスナーの特長

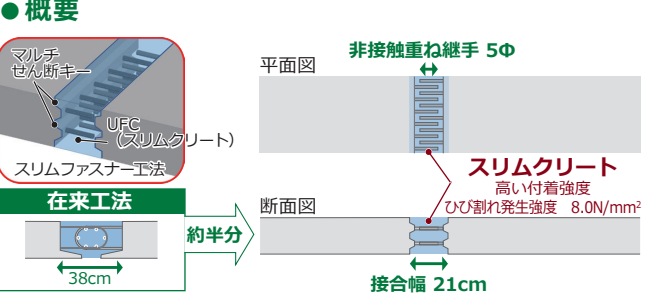
接合幅を縮小（在来工法の50%）
現場配筋作業が不要、打設量も低減

工程短縮（＝規制期間の短縮）を実現

スリムクリートは高強度・高耐久
接合部が構造上の弱点にならない

メンテナンスフリーな構造

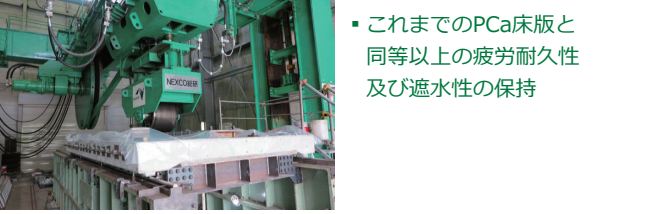
●概要



スリムトップ床版

●輪荷重走行試験（実施工に先立ち実証試験を実施）

東北自動車道宮城白石川橋で採用（2020年秋）



②夜間車線規制での床版取替後に交通解放できる技術

スリムNEOプレート工法

●施工手順

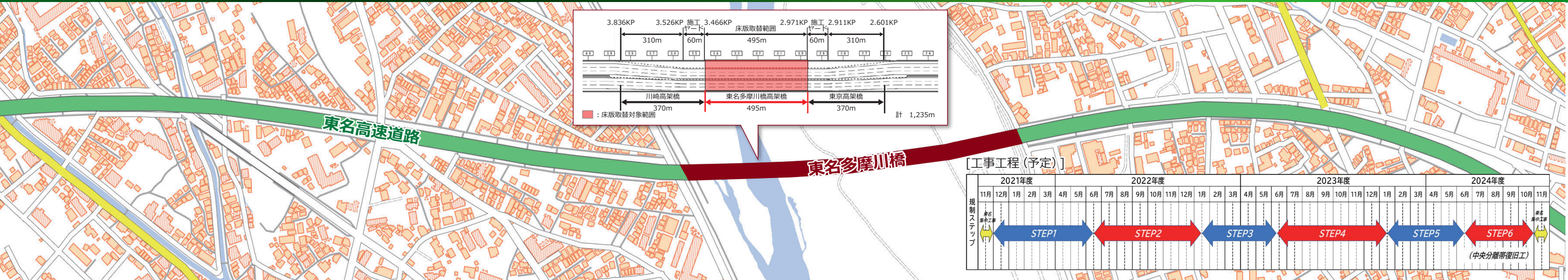
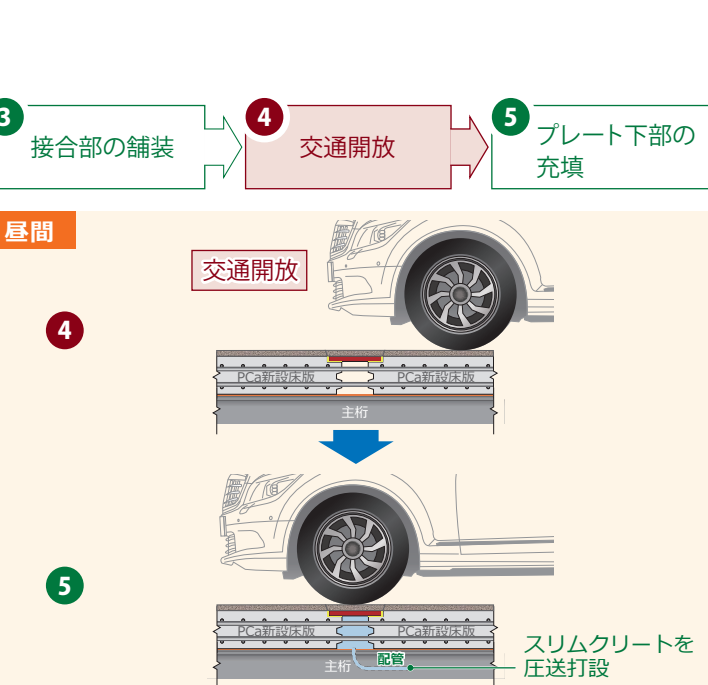
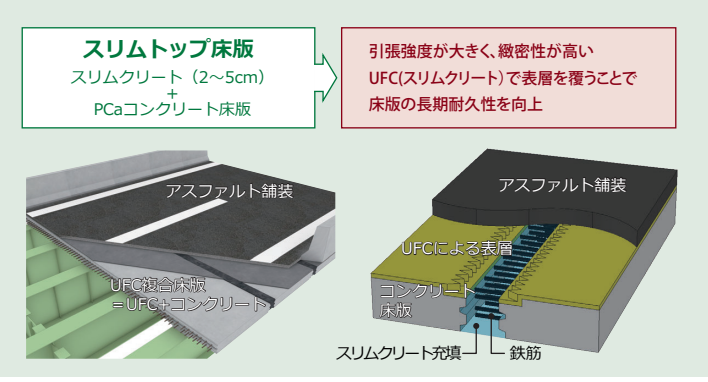
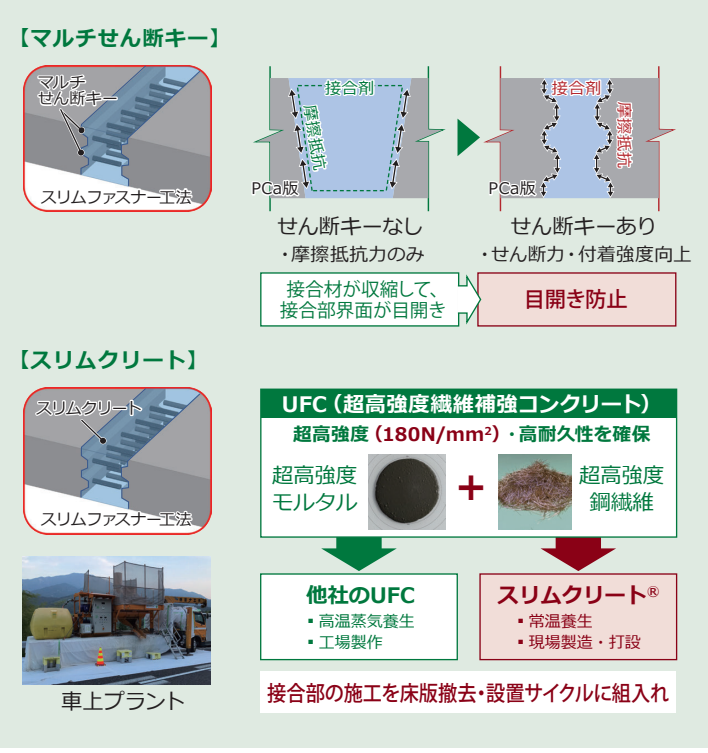
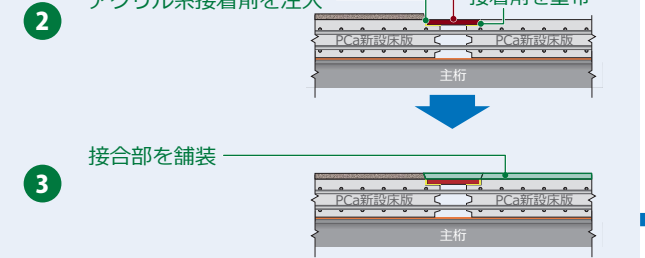
1 主桁と床版の固定

2 スリムNEOプレートの設置

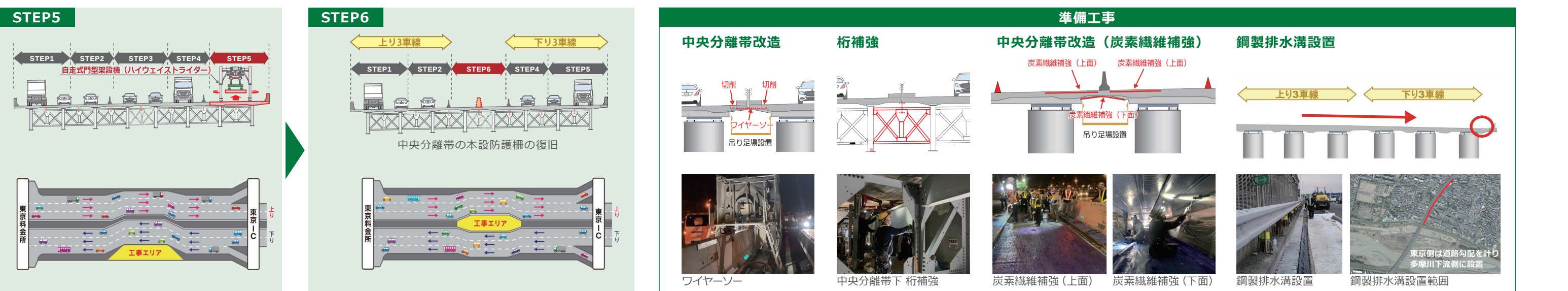
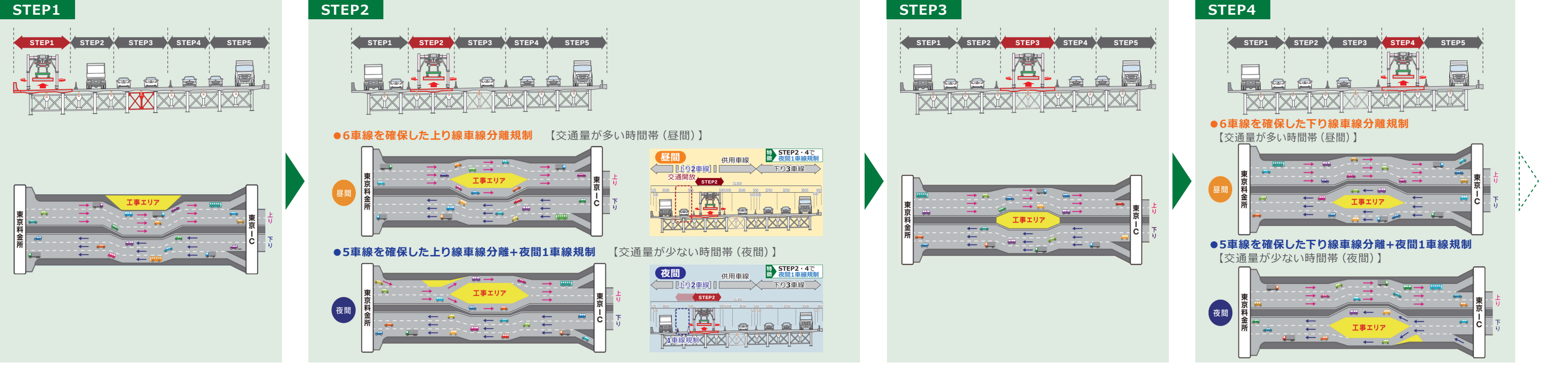
3 接合部の舗装

4 交通開放

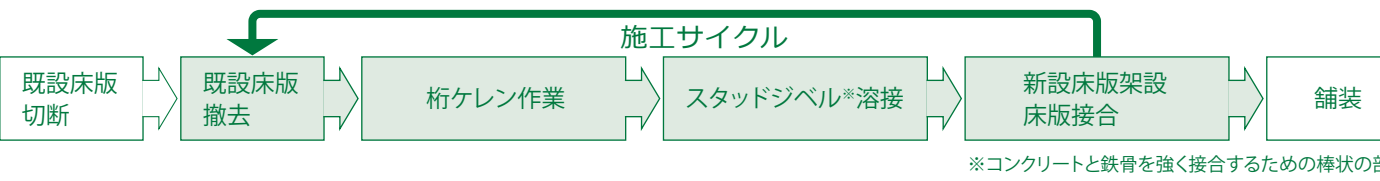
5 プレート下部の充填



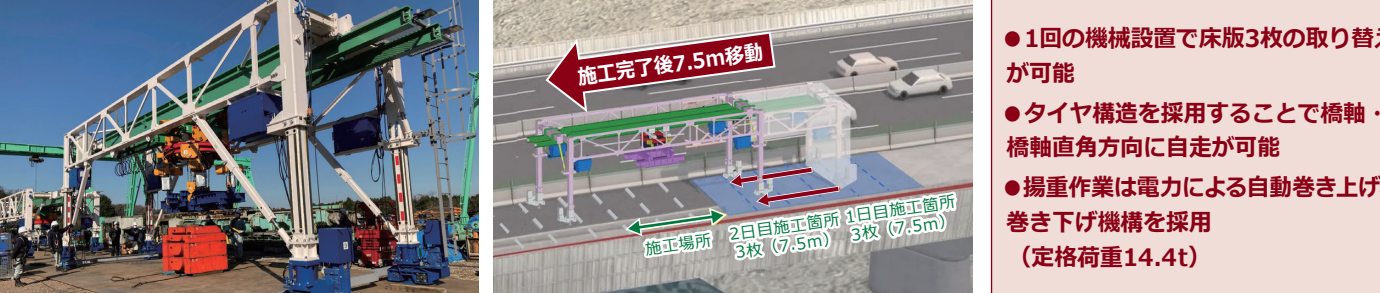
床版取替工事の規制内容【6車線を確保した昼夜連続・車線シフト規制（車線幅縮小）】



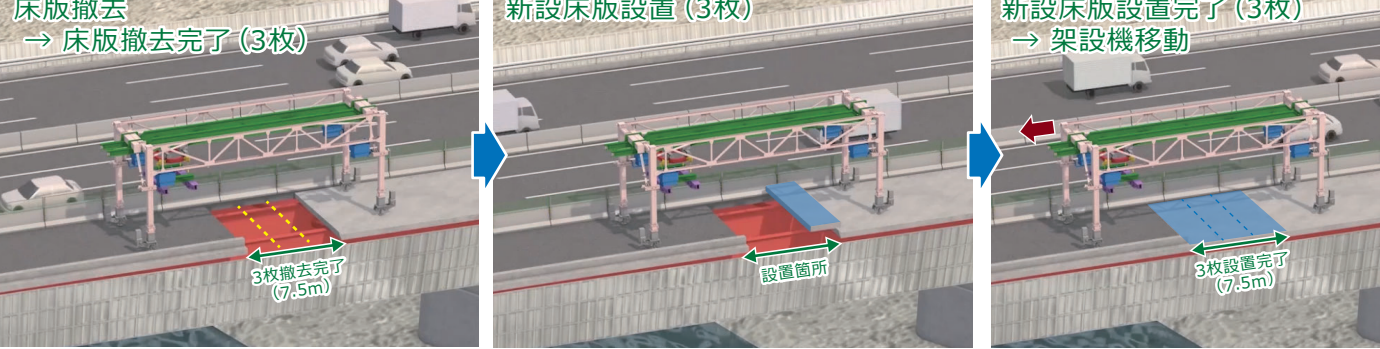
施工サイクル



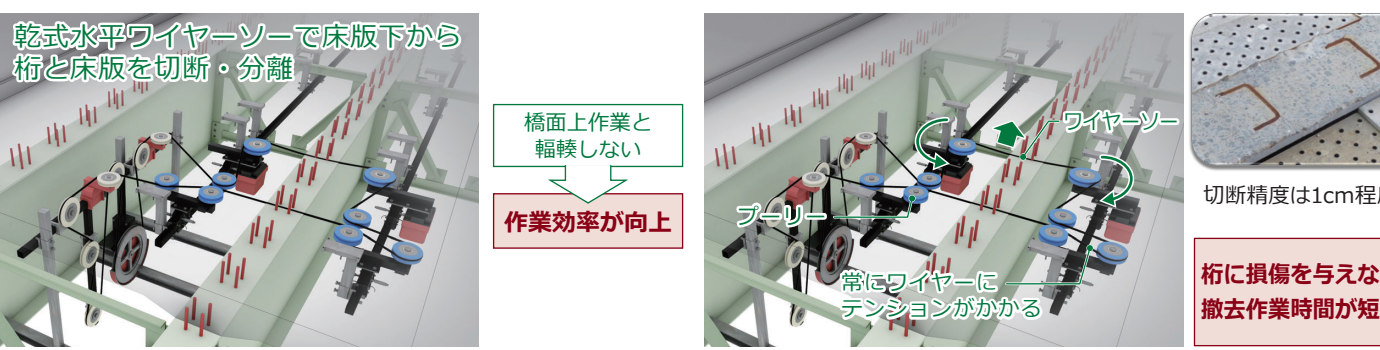
ハイウェイストライダー



自走式門型架設機（ハイウェイストライダー）による床版取替手順



サブマリンスライサー



プレキャスト【EMC壁高欄】

